

令和3年度 入札監視委員会(回議)議事概要

北関東防衛局

開催日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入札監視委員会定例会議を回議方式へ変更 (回議実施期間:令和4年1月18日から令和4年3月9日)		
委員	岩谷 眞 (不動産鑑定士) 徳力 徹也 (大学教授)	長内 温子 (公認会計士) 三谷 和歌子 (弁護士)	菊池 喜昭 (大学教授)

I 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日 (北関東防衛局は令和3年10月1日～令和3年12月31日)
--------	---

審議対象件数	65 件
--------	------

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数		7 件	審議概要	【報告事項】 ・ 指名停止措置状況について ・ 契約状況について 【抽出案件】 ・ 建設工事、建設コンサルタント業務等 (1) 海上自衛隊 (2)～(7) 北関東防衛局
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0 件		
	一般競争(政府調達協定対象外)	3 件		
	随意契約	0 件		
建設コンサルタント業務等		4 件		

○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等	意見・質問	回答
	【報告事項】 ○ 指名停止状況について [特に意見なし] ○ 契約状況について [特に意見なし]	
	【抽出案件】 ○ 建設工事[一般競争入札] (1) 基地内屋根その他修繕 (海上自衛隊 館山航空基地隊)	・ 令和元年に館山市を直撃した台風(15号)の被害を受け計画された案件であり、基地内対象施設、工事内容が多岐に亘ることが要因として考えられる。 ・ 予定価格の算定に応札者1者からの見積りを参考にした部分はあるが、歩掛等を用いて見積額より低額の予定価格を設定して入札したところ、1回目の応札で予定価格に至らず、2回目の応札で落札したためと考える。 ・ 近隣業者を含め複数者に見積提出を依頼したが、本件工事受注者の1者のみの提出であった。 今後とも、より多くの者が入札に参加するよう一層の声掛け等に努める。
	・ 本件業務は1者応札になったが、他者が参加しない又はできない理由は何か。 ・ 高落札率になった要因は何か。 ・ 入札への参加を促すため、複数の者から見積を取るべきではないか。	
	○ 建設工事[一般競争入札](政府調達協定対象外) (2) 府中(3)庁舎新設土木工事 (北関東防衛局 調達部)	・ 入札参加を見合わせた者によると、建物付帯土木工事である本工事は、土工事等の工種が複数ある割には各工事量が少ない工事であるため、他の利益が大きい工事を優先したことから、配置する技術者の確保が困難となったとのことであった。 ・ 本件は、発注者の積算価格と乖離する工種等の実勢価格を把握し、積算価格に反映させる見積活用方式の試行工事であり、1者応札になった場合には高落札率となる傾向がある。
	・ 本件業務は1者応札になったが、他者が参加しない又はできない理由は何か。 ・ 高落札率になった要因は何か。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、競争性を高める方策は、どのようなものが考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札公告閲覧等を声掛けするほか、辞退者には直ちに理由を確認し、辞退理由を関係部署と共有するとともに、不足傾向にある技術者を早期に確保するため、複数者の入札参加が見込まれる年度当初に発注できるよう調整する。
<p>委員からの意見・質問</p>	<p>○ 建設工事〔一般競争入札〕(政府調達協定対象外) (3) 硫黄島(3) 滑走路等改修工事 (北関東防衛局 調達部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件業務は1者応札になったが、他者が参加しない又はできない理由は何か。 ・ 高落札率になった要因は何か。 ・ 入札参加を促す方策はないのか。 	<p>調達部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 硫黄島での工事は、公共交通手段のない離島での工事となるため、資機材の輸送や労働者の渡島に必要な手続きなど本土で行う工事に比べて、必要な事務や準備が多岐に及ぶことから、工事实績のある者が限定的であり、過去の受注者であっても入札に参加しにくい状況にあるものと考えられる。 ・ 本件は、発注者の積算価格と乖離する工種等の実勢価格を把握し、積算価格に反映させる見積活用方式の試行工事であり、1者応札になった場合には高落札率となる傾向がある。 ・ 引き続き入札公告閲覧等の声掛けを行い、入札参加を促したい。
<p>○ それに対する回答等</p>	<p>○ 建設コンサルタント等業務〔一般競争入札〕(政府調達協定対象外) (4) 府中(3) 庁舎解体等建築設計 (北関東防衛局 調達部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件業務は1者応札になったが、他者が参加しない又はできない理由は何か。 ・ 今後、競争性を高める方策は、どのようなものが考えられるか。 	<p>調達部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダウンロードシステムを閲覧し参加しなかった者への聴き取りによると、本業務内容を踏まえ、現在予定する手持ち業務量、技術者状況等を総合的に判断し参加を見送ったとのことであった。 ・ 入札公告閲覧等を声掛けするほか、辞退者には直ちに理由を確認し、辞退理由を関係部署と共有するとともに、不足傾向にある技術者を早期に確保するため、複数者の入札参加が見込まれる年度当初に発注できるよう調整する。
	<p>○ 建設コンサルタント等業務〔一般競争入札〕(政府調達協定対象外) (5) 東立川(3) 給水施設等新設土木工事監理業務 (北関東防衛局 調達部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件業務は1者応札になったが、他者が参加しない又はできない理由は何か。 ・ 高落札率になった要因は何か。 ・ 配置する技術者に要求される能力・資格を緩和することは可能か。 	<p>調達部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札参加を見合わせた者によると、配置する技術者の確保が困難とのことであった。 ・ 監理業務費は、公表されている監理業務委託積算要領と仕様書の積算条件を用いて、労務単価及び経費率を乗じて積算できるため、予定価格と入札価格が近似する傾向がある。 ・ 工事監理する上で必要な資格等を設定しているため、緩和は難しいと考える。
	<p>○ 建設コンサルタント等業務〔一般競争入札〕(政府調達協定対象外) (6) 熊谷(3) 隊舎改修等建築工事監理業務 (北関東防衛局 調達部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件業務は1者応札になったが、他者が参加しない又はできない理由は何か。 	<p>調達部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競争参加資格確認申請は2者であったが、1者が辞退したため、1者応札になった。 また、業務規模が比較的小規模で、都心より遠方の監理地区のため応募者が少なかったと考えられる。

○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、競争性を高める方策は、どのようなものが考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札公告閲覧等を声掛けするほか、辞退者には直ちに理由を確認し、辞退理由を関係部署と共有するとともに、不足傾向にある技術者を早期に確保するため、複数者の入札参加が見込まれる年度当初に発注できるよう調整する。
	<p>○ 建設コンサルタント等業務〔一般競争入札〕(政府調達協定対象外) (7) 防医大(3)体育館新設等設備工事監理業務 (北関東防衛局 調達部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件業務は1者応札になったが、他者が参加しない又はできない理由は何か。 ・ 高落札率になった要因は何か。 ・ 今後、競争性を高める方策は、どのようなものが考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競争参加資格確認申請は2者であったが、1者が辞退したため、1者応札になった。 ダウンロードシステムを閲覧し参加しなかった者への聴き取りによると、他事案等の手持ち業務状況、技術者状況を踏まえ総合的に判断し参加を見送ったとのことであった。 ・ 監理業務費は、公表されている監理業務委託積算要領と仕様書の積算条件を用いて、労務単価及び経費率を乗じて積算できるため、予定価格と入札価格が近似する傾向がある。 ・ 入札公告閲覧等を声掛けするほか、辞退者には直ちに理由を確認し、辞退理由を関係部署と共有するとともに、不足傾向にある技術者を早期に確保するため、複数者の入札参加が見込まれる年度当初に発注できるよう調整する。

2.談合疑義案件の処理状況について 報告なし	
3.入札結果の事後的・統計的分析結果について(公正入札調査会議への報告内容の確認等)	
審議概要	・順位傾向、落札率・応札率、調査項目別の平均落札率等、低入札／不調事案の分析
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	・ 特になし
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・ 特になし
4.再苦情処理(再説明請求回答)	・ 該当案件なし

令和3年度 入札監視委員会(回議)議事概要

北関東防衛局

開催日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入札監視委員会定例会議を回議方式へ変更 (回議実施期間:令和4年1月18日から令和4年3月9日)		
委員	岩谷 眞 (不動産鑑定士) 徳力 徹也 (大学教授)	長内 温子(公認会計士) 三谷 和歌子 (弁護士)	菊池 喜昭 (大学教授)

II 契約実施機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日
審議対象件数	3,447 件

1.入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	7 件	審議概要 【抽出案件】 (1) 防衛研究所 (2)~(7) 海上自衛隊
一般競争	7 件	
指名競争	0 件	
随意契約	0 件	

意見・質問		回答
○委員からの意見・質問	<p>【抽出案件】</p> <p>○ 一般競争入札</p> <p>(1) 防衛研究所電算機システムの運用支援役務 (防衛研究所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本件業務は特定の者による1者応札が続いているが、他の者が応札しない要因は何か。 今後、応札者を増やし競争性を高める方策は、どのようなものが考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札予定価格算定のため2者から見積りを徴収し2者が応札していたが、一昨年度から1者応札となった。辞退者に理由を聞いたところ、契約実績金額から判断して参加しなかったとのことであり、業務に対する相場観が乖離していることが要因であると考えられる。 会社側の企業努力等から競争性は確認できるが、令和4年度の業務発注にあたって、より多くの者が入札への参加を検討できるように、昨年度より公告日を前倒して、公告期間を拡大するなどの措置を講じているところである。
	<p>○それに対する回答等</p> <p>○ 一般競争入札</p> <p>(2) 人事作業支援器材 (海上自衛隊 東京業務隊)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本件業務は1者応札となったが、他の者が応札しない要因は何か。 契約時期が1月下旬であるが、早期に入札すべきではなかったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札仕様書を見たらうえて入札に参加しなかった者に辞退理由を確認したところ、納期内に履行できない、あるいは既受注事業と重複するためシステム・エンジニアを確保できなかったという事情であった。 本件は、システム構築のソフトウェア作成業務の成果を踏まえて、相応の機材を購入して設置する業務であったことから契約時期を前倒しすることができなかった。今後は、調達全体の計画を精査して、個々の調達時期を早期に設定する。

○委員からの意見・質問

○それに対する回答等

○ 一般競争入札
(3) 衛星データ RF (海上自衛隊 東京業務隊)

・ 本件業務は1者応札かつ高落札率になったが、他者が参加しない又はできない要因をどのように分析しているか。

・ 競争性を確保する方策はないのか。

・ 海上自衛隊で使用しているシステムを利用、閲覧するためには、今回の受注者製のソフトウェアが必要であり、この事が他者に対して有利であることから、他者が応札を控えたものと推察される。
また、高落札率については、落札者以外の者からは見積提出の協力が得られなかったことから、予定価格の積算において落札者の見積価格を採用せざるを得なかったため。

・ 今回、海上自衛隊が受注者製のソフトウェアライセンスを購入したことから、受注者のみの優位性は少なくなるため、競争性は確保されると考える。

○ 一般競争入札
(4) ボイラー設備保守管理業務 (海上自衛隊 下総航空基地隊)

・ 入札の申請者及び応札者ともに増加し、落札率も低下してきており、競争性が確保されてきつつある傾向がうかがえるが、どのような工夫等をされたか。

・ 一般競争入札の公告期間を30日程度として競争性の確保に努め、調達要求元から業務遂行が可能なる者に入札への参加を促した。さらに、入札参加希望者に対して、前年度契約分との仕様内容の変更点を明確にして案内するなど、入札しやすい環境に配慮している。

○ 一般競争入札(不調随契)
(5) 電気設備保守管理業務 (海上自衛隊 下総航空基地隊)

・ 本件業務は1者応札かつ高落札率「不落随契」になったが、他者が参加しない又はできない要因をどのように分析しているか。

・ 本件業務に2者が応札し、最初の入札で予定価格に到達しなかったため再公告となり、再度の入札では途中で1者が辞退し、残った1者も予定価格に到達しなかったため、調整のうえ不落随契とした。
入札不参加者への聴き取りによると、本件業務が大規模施設の電気設備保守管理であるため、技術者の確保等が困難等の理由であった。

・ 応札者を増やし競争性を高める方策は、どのようなものが考えられるか。

・ 本件業務は、日常保守監視及び年次点検であるため、両業務を分割発注する方策もあるが、分割発注による責任所在の不明確化や経済性の欠落などに留意した検討が必要である。

・ 予定価格と見積額との間に相当の乖離があるが、過当競争の結果を参考にした応札率を用いた予定価格の算定には正当性があるのか。

・ 今後の予定価格算定には、過去の応札率を参考にしないこととした。

○ 一般競争入札
(6) 冷房車ESM-14Bの定期修理 (海上自衛隊 下総航空基地隊)

・ 本件業務は1者応札かつ高落札率になったが、他者が参加しない又はできない要因をどのように分析しているか。

・ 本件業務が、航空機に供給する冷却空気等を供給するための空調装置搭載型トラックを定期的に修理するといった特異かつ限定的な業務であることが、他者が参入しづらい要因と考えられる。
また、高落札率については、落札者以外の者からは見積提出の協力が得られなかったことから、予定価格の積算において落札者の見積価格を採用せざるを得ず、入札においても1回目でも落札せず、2回目でも予定価格に達したため。

<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>○ 一般競争入札 (7) 業務用車両の運行及び維持 (海上自衛隊 館山航空基地隊)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件業務は1者応札かつ高落札率になったが、他者が参加しない又はできない要因をどのように分析しているか。 ・ 令和3年度は応札者が増えたが、何か工夫、努力をされたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度の入札には2者が参加したが、入札金額に開きがあり、契約額を確認し利益が出ないと判断した者が参加しなかったため、1者応札となった。 また、高落札率については、落札者以外の者からは見積提出の協力が得られなかったことから、予定価格の積算において落札者の見積価格を採用せざるを得ず、入札においても1回目で落札せず、2回目で予定価格に達したため。 ・ 新規参入者を確保するため、入札公告期間を十分にとり、また、参加できる者が他にいないか調査のうえ積極的に申込みの勧誘を行った結果と考える。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>・ な し</p>	
<p>2.談合情報案件の処理状況について</p>	<p>・ 該当案件なし</p>	
<p>3.再苦情処理</p>	<p>・ 該当案件なし</p>	